

平成26年3月31日（月）
国土交通省関東地方整備局
東京国道事務所

－記者発表資料－

来街者にやさしい安全で円滑な工事を行います

－ 渋谷駅中心地区工事・工程協議会を開催しました －

渋谷駅周辺では、国際競争力を強化し世界への情報発信拠点として更なる発展を旨とした新たなまちづくりが今後本格的に実施されます。

谷地形を有する渋谷駅を中心とした狭隘な地域において、基盤整備事業や鉄道改良事業・道路改良事業が進められますが、同時多発的かつ長期的に事業が実施される世界でも類を見ない非常に輻輳した工事となります。

平成25年9月に関係事業者9者により、「渋谷駅中心地区工事・工程協議会」を設立（座長：国土交通省東京国道事務所長）し、平成26年3月20日には2回目の協議会を開催しました。協議会では、工事中におけるまちの魅力を維持し、計画的に早期に工事を完了させ、来街者の方々へのご不便・ご迷惑を最小限にするべく、調整を行っています。

今後、渋谷のまちの魅力を維持するため「渋谷駅前エリアマネジメント協議会」と連携し工事中の歩行者動線等の情報を的確に発信していく予定です。

また、2020年（平成32年）の東京オリンピック・パラリンピックをまちづくりにおける一つの通過点と捉え、長期的な視野に立ち、国内はもとより、外国人来訪者に対しても渋谷のまちが構築されていく過程について、情報発信をしていくため、関係者間の調整を本協議会で行っていきます。

発表記者クラブ

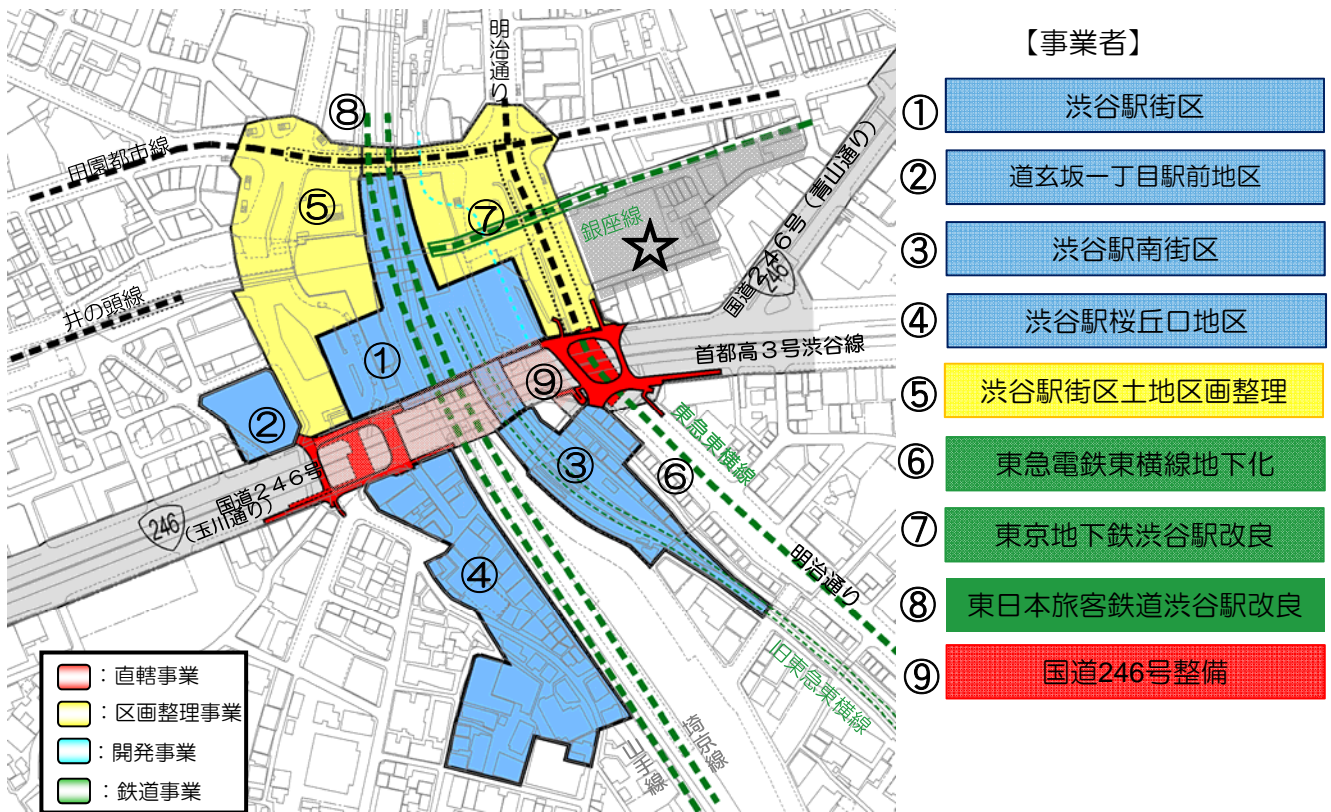
竹芝記者クラブ 都庁記者クラブ 神奈川建設記者会

問い合わせ先

国土交通省関東地方整備局東京国道事務所
住所 東京都千代田区九段南1-2-1 九段第3合同庁舎15・16階
電話 03-3512-9090（代） FAX 03-3512-9153
地域広報官 ^{くぼた たつや}窪田 達也（内線 205）

渋谷駅周辺開発概要

当計画は、渋谷駅を中心とする地域について、官民パートナーシップの下に、渋谷駅の機構更新と再編、駅前広場や道路などの公共施設の再編・拡充及び駅ビルの再開発を一体的に行うことにより、限られた空間に多様な機能を集積し、安全で快適な都市空間を創出するものです。



☆（渋谷ヒカリエ）：平成24年4月26日開業

■各事業の概要

- ①渋谷駅街区：駅街区ビル建設（東棟、中央棟、西棟）
- ②道玄坂一丁目駅前地区市街地再開発：街区再編と駅前広場の拡充
- ③渋谷駅南街区：東急東横線渋谷駅ホーム及び線路跡地の開発、
渋谷川の環境整備
- ④渋谷駅桜丘口地区市街地再開発：街区再編による駅南西部玄関口整備
（事業者により都市計画提案中）
- ⑤渋谷駅街区土地区画整理：渋谷駅周辺の基盤整備
- ⑥東京急行電鉄東横線の地下化：道路施設等の復旧
- ⑦東京地下鉄渋谷駅改良：銀座線渋谷駅改良
- ⑧東日本旅客鉄道渋谷駅改良：山手線・埼京線改良
- ⑨国道246号渋谷駅周辺整備：歩道橋架け替え、地下通路構築、国道拡幅

－ 9 事業者による輻輳する工事のコーディネートを行います －

■目的：渋谷駅中心地区において輻輳する公共事業や各開発事業について、重複する施工ヤードや工程の調整を行い、工事を安全にかつ円滑・迅速に行います。

■協議会実施事項

- (1) 長期的な視野における工事・工程の調整
- (2) 情報プラットフォームの作成（今後の渋谷のまちの変遷を表す図）



渋谷駅中心地区基盤整備方針（平成24年10月、渋谷区）に基づき作成
桜丘口地区については事業者からの都市計画提案内容に基づき作成

■協議会メンバー

国土交通省東京国道事務所、東日本旅客鉄道、東京急行電鉄、東京地下鉄、渋谷駅地区駅街区共同ビル開発事業者、渋谷駅南街区プロジェクト事業推進者、道玄坂一丁目駅前地区市街地再開発準備組合、渋谷駅桜丘口地区再開発準備組合、渋谷駅街区土地区画整理事業共同施行者

<参考>渋谷駅前エリアマネジメント協議会との連携

渋谷駅前エリアマネジメント協議会と連携して、下記を実施していきます。

- (1) 工事中の歩行者動線等の情報発信
- (2) 渋谷駅周辺構築段階図（情報プラットフォーム）の情報発信
- (3) その他

